



左から優勝:松本、準優勝:山口、3位:三枝、西本



優勝:平井

平成30年もよろしくお願ひします 稽古初めに市民剣士が鋭い気合

神澤正輝会長 年頭にあたって

平成30年1月7日(日)、9時30分より、三木市民体育館で新春恒例の稽古初めが140名の参加者を得て行われた。

開会にあたり神澤正輝会長が年始の挨拶で、「今年この目標を立て、それに向かつて努力をしましょう。指導される先生方は、子どもたちが興味を持つように指導の仕方を工夫してください」と述べた。

ひき続き、去る11月に三木市民大会で日本剣道形の部に入賞した緑が丘、別所、三木中央の3教室の代表が気合たっぷり日本剣道形を演武した。

その後、面を着けて小学生が先生方に稽古をつけてもらった。限られた時間にかつただけたくさん先生にかつていこうとみんながんばっていた。小学生の稽古が終わると続いて中学生から大人までが入り乱れて稽古に汗を流した。曇り空で寒い一日であったが、体育館の中は参加者の気勢と熱気がみなぎっていた。

会員の皆様におかれましては、ご健で新年を迎えられたことと、お慶びを申し上げます。

新しい年を迎えて、より強力な心身、技の向上、指導力アップを目指しお互い切磋琢磨して学びあおうではありませんか。「剣窓」に掲載されていましたが、「学ぶことができる力」に必要なのは、「自分は学ばなければならぬ」と言う己の無知について「痛切な自覚がある事。」「この人が私の師だ」と直感できる事。そしてその「師」を教える気にさせる広々とした開放性。この三つの条件を一言で表すと「私は学びたいのです。先生どうか教えてください。」これが学力すなわち「学ぶ力」だそう。知ったかぶりをせず、純粹に、素直に、そして無垢な心をもって取り組むたいものです。

私は、今年も「会員のみなさん全員と稽古をすること」を目標とします。みなさんが稽古をされているところへ出かけて行って、どんな雰囲気、稽古内容は、また子供たちにはどんな指導をされているかを見させていただき、良いところは他の教室に紹介をし、改善するところがあれば提案させていただきます。特に、小学生の多い教室の会員をいかにして増やしたか、苦勞話も聞いてみたいと思います。報告を楽しみにして下さい。まだ遅くはありません、今年一年かけて取り組む目標を立て、それに向かつてこつこつ努力をすることがいかに大事であるか、少年たちに示すためにも指導の先生方ぜひ有言実行しようではありませんか。

